

2023年度

《学生による授業評価アンケート》結果報告書

相愛大学FD委員会

## まえがき

2023 年度前期・後期の授業評価アンケートの結果を、ご報告いたします。先生方には、講義間内でのアンケート調査の実施、アンケート結果に対する意見および改善方法などを記したリフレクション・ペーパーを作成いただき、ありがとうございます。

本アンケートは 2015 年度前期から 2019 年度後期までは同じ質問項目で行っており、2020 年度後期から質問内容を若干変更して実施しています。類似した質問項目に関しては、授業に対する学生の評価を年ごとに比較することが可能です。

2023 年度の授業は、原則対面授業として実施されました。授業評価アンケートは、アンケートの回収・集計作業を効率化するため 2022 年度同様 Web で実施し、回収率の問題を改善するために、授業中に時間を設けてアンケートの入力を行いました。

本結果報告書では、FD 委員会において学科別などの集計や分析を行いました。本学のカリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）の再考や具体化、学びの質保証（ディプロマポリシーの具現化）、各学部・学科の教育課程、教育や学びの方針の検討のための資料としても、本データを活用して頂けるのではないかと思います。そのためにも、教職員の皆さまの、より一層の御指導、ご協力をお願いいたします。

川中 美津子  
進藤 容子  
松島 京  
沼田 潤  
岡坊 久美子  
井上 陽  
庄條 愛子  
藤永 慎一  
温井 雅也  
阪田 麻紀

## 授業評価アンケート結果の分析（基礎・共通および資格科目）

### 1. 評価の特徴

基礎・共通科目の特徴は、受講生に1・2回生が多いこと、授業の内容は語学から情報処理、スポーツ実技まで幅広いことなどである。資格科目の特徴は、受講生に2回生以上が多いこと、留学生が少ないことなどである。

本年度の授業評価アンケートはWebのみでアンケートを実施したため、授業によって回答率が大きく異なり、授業によって回答者に占める留学生および留学生以外の回答率にばらつきがみられた。そのため、基礎・共通及び資格科目の全ての授業の平均値を対象として、前期・後期の平均評価値を比較した。

### 2. 受講者の授業に対する姿勢（問2～4）

受講者の授業に対する姿勢を問う問2～4の評価値は、いずれも全学平均と比較して大きな差は見られなかった。

問2「あなたはこの授業に積極的に参加しましたか。」、問3「あなたはこの授業の学修目標を理解できましたか。」、問4「あなたはこの授業に関して予習・復習を含めて授業時間外も学習しましたか。」の評価値は、いずれも前期と後期で大きな差は見られなかった。問4の授業時間外の予習・復習に関する質問の評価値は、本年度も他の質問に比べて低値であった。今後、いっそう授業時間外の予習・復習を促していくことが重要になってくると言える。

### 3. 担当教員の授業に対する姿勢（問5～8）

担当教員の授業に対する姿勢を問う問5～8の評価値は、いずれも全学平均と大きな差はなかった。

今年度も、本アンケートの結果から担当教員は教材（テキスト、プリントなど）などを効果的に活用し、授業時間を守りながら丁寧な授業を実施したことがうかがえる。基礎・共通教育および資格系の授業を担当された先生方の本学の教育に対する真摯な対応が、学生による意見として本アンケートに反映されたと言えよう。

### 4. 授業の内容や理解、満足度に関する（問1、9～13）

授業の内容や理解、満足度に関する問1、9～13の評価値も、全学平均と大きな差はなかった。基礎・共通及び資格科目の全ての授業の平均値は、前期・後期で大きな差は見られなかった。

問1、9～13の評価値は、問5～8の担当教員の授業に対する姿勢に関する質問と非常に密接に関連していると考えられ、教員が丁寧に熱意を持って指導している授業では自ずと問1、9～13の評価値が高くなると推察される。問12「この授業を受講して新しい知識・考え方・技能などが習得できましたか。」の評価値が前期・後期と変わらず高めの数値

を示していることから、学生それぞれが授業を通じた学修によって新しい知識の獲得や視野の広がりを経験していることが伺える。今後も、さらに学生が満足できる授業を提供できるように先生方と協力していきたい。

## 授業評価アンケート結果の分析（音楽学部）

### 1. 評価の特徴

本年度は新型コロナウイルス感染症の影響も弱まり、講義及びレッスン・演習は対面で行われた。かねてから音楽学部のレッスンは対面により実施することが望ましいという意見が学部内に多かったので、講義の授業形態も対面で実施した。しかし依然コロナ蔓延時期に教室内部に設置された飛沫防止シートは残したまま実施され、一部ドアを開けて授業を実施するクラスもあった。しかしコロナの心配は残るにしても、対面実施という明るい兆しが見え始めた2023年度であった。全学との平均評価値の比較、そして音楽学部において前期と後期の平均評価値を比較分析した。なお、2023年度は実技レッスンについての授業評価アンケートは実施されず、次年度実施を目指すこととなった。

### 2. 担当教員の授業に対する姿勢（問1, 5～8）

担当教員の授業に対する姿勢を問う評価値は、全体平均値と比較して若干ではあるが高い値を示していた。また前期と後期の音楽学部の評価値を比較すると、前期が後期の平均値より高かった。

### 3. 受講者の授業に対する姿勢（問2～4）

担当教員の授業に対する姿勢を問う上記2. の評価値は全学平均と比較すると若干高い値を示していた。問2～4で音楽学部の前・後期を比較すると、前期の数値は若干高かった。全体平均で比較するとほぼ横ばいで、他学部との比較では若干上回る値となっていた。前期は積極的に授業に臨んでみたが、後期に入り大学生活に慣れて来るに従い惰性で学修した結果、若干であったとしてもその緩みが数値となって表れたのではないかと推察する。

### 4. 授業内容、理解、満足度について（問9～13）

この問いでの評価値を全学平均と比較すると、他学部より高い値を示していた。特に問13の「この授業を受講して満足出来ましたか」では、他学部留学生グループ平均値に次ぐ数値が出ており、授業は学生が求めている内容に沿っていた事が表れている。また音楽学部で前・後期を比較すると、僅かではあるが後期の方が上昇していた。前期では授業内で不明瞭であった事項が後期に理解できるようになり、同時に教員も授業を進めるに従い履修学生の個々の能力への対応が可能になった結果ではないかと推察する。

### まとめ

2.～4. から、受講者と担当教員の授業に対する姿勢は概ね良好であり、前年度と同じく授業内容や理解、満足度が繋がっていた事が分かる。しかしながら、問4「あなたはこの授業に関して予習・復習を含めて授業時間外も学修しましたか。」に関しては、音楽学部の他

の問いのグループ平均値と比較すると、明らかに低い（平均値 3.40）。毎年この傾向にあるが、それが予習・復習に割ける時間的な問題なのか、或いは授業の難易度から生じる現象なのか、さらに詳細な情報収集が必要とされるのではないかと考える。

## 授業評価アンケート結果の分析（人文学部）

### 1. 評価の特徴

人文学部の科目は、ゼミナール科目、キャリア支援科目、入門科目、専門関連科目に大別することができる。ゼミナール科目はすべて必修で、複数の少人数クラスを開講しているが、共通シラバスで運営している。キャリア支援科目は学生のキャリア形成が目的であるので、各科目の位置づけが明確である。入門科目および専門関連科目は、日本文学、歴史・サブカルチャー、仏教文化、心理、国際コミュニケーション、ビジネス・社会という異なる 6 つの分野に関する科目があり、その内容も多岐にわたる。専門関連科目は数が多く、受講者数に偏りがある。このような科目の多様性と受講生の多少から、カリキュラムの総合的な分析は困難であるので、グループ平均を中心に分析を行った。また、人文学部には留学生が多く在籍しており、留学生と留学生以外の評価に差が認められる。この点にも留意した。

### 2. 受講者の授業に対する姿勢（問 2～問 4）

問 2～問 4 の平均値は、前期より後期が高くなっている。問 2「あなたはこの授業に積極的に参加しましたか」は 0.07、問 3「あなたはこの授業の学修目標を理解できましたか」は 0.09、問 4「あなたはこの授業に関して予習・復習を含めて授業時間外も学習しましたか」は 0.14、平均値が上昇している。後期になると、学生たちは大学生活に慣れている。学習に集中できる環境が整ったことで、積極的に授業に参加するようになり、授業外にも学習するようになったとみてよいだろう。

また、いずれの問いも留学生は留学生以外の学生より平均値が高い。問 2 は前期 0.28、後期 0.31、問 3 は前期 0.26、後期 0.22、問 4 は前期 0.55、後期 0.53、留学生の方が留学生以外の学生より平均値が高かった。留学生は学習意欲が高く、授業外にも学習に時間を割いていることがわかる。一方、留学生以外の学生については、授業外の学習にも力を入れるよう促す必要がある。

### 3. 担当教員の授業に対する姿勢（問 1、問 5～問 8）

問 1 および問 5～8 の平均値も、前期より後期が高くなっている。問 1「この授業はシラバスに沿って行われていましたか」は 0.07、問 5「担当教員は授業時間を守っていましたか」は 0.06、問 6「担当教員の説明はていねいでしたか」は 0.05、問 7「担当教員は学生が質問や意見を述べられやすい環境を作っていましたか」は 0.06、問 8「担当教員は教材（テキスト、プリントなど）などを効果的に用いていましたか」は 0.06、平均値が上昇していた。著しい変化ではないが、前期を経て受講生と担当教員との信頼関係が構築されたことが、後期の問 6 や問 7 の評価につながっていると考えられる。

また、留学生の平均値も留学生以外の学生より高く、特に問 7 は前期 0.40、後期 0.33 でその差が顕著であった。担当教員は誰もが質問や意見を述べやすい環境を作るよう努力していると思われるが、問 2～4 の結果も考慮に入れると、留学生はわからないことを積極的に質問する傾向に

あり、担当教員がその質問に誠実に応えているのだと推察される。

問1および問5～問8の平均値はいずれも問2～4より高かった。受講生は担当教員の授業に対する姿勢や受講生に対する指導には満足しているが、それを自学自習につなげられていないようだ。自学自習は難しいという学生でも、自分の力で授業の予習復習に取り組めるような課題やサポートが求められている。

#### 4. 授業の内容の理解、満足度（問9～問13）

問9～13の平均値も前期より後期が高く、留学生以外の学生よりも留学生が高い。

問9、10の評価は授業そのものの満足度を表していると考えられる。問9「この授業の内容は授業の学修目標に適したものでしたか」は前期3.69、後期3.77、問10「この授業の内容は理解しやすかったですか」は前期3.55、後期3.66であった。

一方、問11、12の評価は受講生が自身の成長を実感できているかを示しているといっていよう。問11「この授業を受講してテーマとする分野への問題意識や関心が深まりましたか」は前期3.55、後期3.67、問12「この授業を受講して新しい知識・考え方・技能などが習得できましたか」は前期3.59、後期3.70であった。

以上の結果から、受講生の多くは人文学部科目の学修目標は適当だと考えており、授業を受けたことで自分の成長を実感できていることがわかる。問13「この授業を受講して満足できましたか」の平均値は前期3.61、後期3.71で高評価であった。しかし、人文学部の学生は多様な背景をもっており、基礎学力や日本語能力に差がある。なかには授業の内容を難しいと感じたり、授業についていけないと思ったりする学生もいるようだ。担当教員はクラスの中で困っている受講生を発見し、その学生に適した学修アドバイスを行う必要がある。問13の評価すなわち受講生の満足度をさらに上げられるよう、今後も授業の改善に努めたい。

## 授業評価アンケート結果の分析（人間発達学部）

### 1. 評価の特徴

人間発達学部は子ども発達学科、発達栄養学科のいずれも資格取得に重点をおいた授業カリキュラムを編成している。そのため授業評価アンケートの対象も資格取得に関連するものが多く含まれている。また、実習および演習が多いのも本学部の特徴であり、本年度も授業評価アンケート対象科目の半数近くが実習・実験および演習授業の形態であった。本年度の授業評価アンケートも昨年同様、対面授業中にWebでのアンケートに回答する時間を設ける方式でアンケートを実施して、回答率の改善に努めた。本年度は子ども発達学科、発達栄養学科とも前期と後期の回答傾向にほとんど違いは見られなかった。また両学科の回答傾向にもほとんど違いは見られなかった。

### 2. 受講者の授業に対する姿勢（問2～4）

両学科のアンケート対象授業は資格取得に関連したものがほとんどであり、シラバスに出席回数が失格条件として記載されている授業が多い。そのため問2「あなたはこの授業に積極的に参加しましたか。」は他学部、基礎・共通と同様に高値ではあるが、子ども発達学科の前期はわずかながら低値であった。問3「あなたはこの授業の学修目標を理解できましたか。」の評価値は他学部、基礎・共通とほとんど差はなかった。問4「あなたはこの授業に関して予習・復習を含めて授業時間外も学習しましたか。」は両学科とも他の質問に比べて、他学部、基礎・共通と同様かなり低値になっている。

しかし問2～4については、両学科ともに前期に比して後期の評価値が多少なりとも上がっているのは、後期になり大学生としての生活や学習のリズムを身につけた結果と推測される。

### 3. 担当教員の授業に対する姿勢（問5～8）

問5～8は、担当教員の授業に対する姿勢を問うものである。

問5～8に対する評価値は、他学部、基礎・共通、子ども発達学科、発達栄養学科で大きな差は見られなかった。先生方が授業時間を守り、適切な教材で、わかりやすい授業を行っていることが伺える。ただ問7「担当教員は学生が質問や意見の述べやすい環境を作っていましたか。」の評価値はこの設問グループの中で両学科とも前期・後期で一番低値であることを踏まえ、授業中の雰囲気づくりに気を付ける必要がらう。

### 4. 授業の内容や理解、満足度に関して（問1、問9～13）

授業の内容や理解、満足度に関する問1、問9～13の項目は、他学部、基礎・共通、と子ども発達学科、発達栄養学科で大きな差はなく、前期・後期でも大きな差はなかった。問10「この授業の内容は理解しやすかったですか。」の評価値はこの設問グループの中で

両学科とも前期・後期で一番低値であったが、前期よりは後期の評価値が上がっている。

問9「この授業の内容は授業の学修目標に適したものでしたか。」の評価値からすると、学修目標に対して一定の評価がされていると考えられる。設問グループ内で最低値の問10をはじめ、問11「この授業受講してテーマとする分野への問題意識や関心が深まりましたか。」、問12「この授業を受講して新しい知識・考え方・技能などが習得できましたか。」などの授業への満足度をより高められるように、先生方と協議して今後も授業の改善に努めていきたい。

質問項目	
問 1	この授業はシラバスに沿って行っていましたか。
問 2	あなたはこの授業に積極的に参加しましたか。
問 3	あなたはこの授業の学修目標を理解できましたか
問 4	あなたはこの授業に関して予習・復習を含めて授業時間外も学習しましたか。
問 5	担当教員は授業時間を守っていましたか。
問 6	担当教員の説明はていねいでしたか。
問 7	担当教員は学生が質問や意見を述べられやすい環境を作っていましたか。
問 8	担当教員は教材（テキスト、プリントなど）などを効果的に用いていましたか。
問 9	この授業の内容は授業の学修目標に適したものでしたか。
問 1 0	この授業の内容は理解しやすかったですか。
問 1 1	この授業を受講してテーマとする分野への問題意識や関心が深まりましたか。
問 1 2	この授業を受講して新しい知識・考え方・技能などが習得できましたか。
問 1 3	この授業を受講して満足できましたか。
問 1 4	この授業で身についたと思われる力にチェックしてください(複数選択可)。 ①問題・課題を見つける力 ②考える力 ③調べる力 ④主体的に取り組む力 ⑤プレゼンテーション力 ⑥コミュニケーション力
問 1 5	この授業のどのような点に満足できたか、または、この授業について意見・要望・希望・感想があれば、自由に書いてください。
問 1 6	担当教員から独自の質問内容が伝えられている場合のみ、回答してください（教員から何も連絡がなければ回答は不要です）。
問 1 7	担当教員から独自の質問内容が伝えられている場合のみ、回答してください（教員から何も連絡がなければ回答は不要です）。

授業評価アンケート2023年度前期調査結果 グループ平均一覧

	基礎・共通	基礎・共通留学生	基礎・共通留学生以外	資格	音楽学科	人文学科	人文学科留学生	人文学科留学生以外	子ども発達学科	発達栄養学科
問1	3.76	3.91	3.71	3.80	3.82	3.74	3.87	3.69	3.75	3.77
問2	3.60	3.85	3.50	3.71	3.74	3.56	3.77	3.49	3.57	3.71
問3	3.56	3.83	3.46	3.65	3.72	3.57	3.76	3.50	3.60	3.58
問4	3.15	3.69	2.96	3.40	3.40	3.23	3.64	3.09	3.24	3.39
問5	3.79	3.93	3.74	3.80	3.84	3.75	3.87	3.71	3.77	3.77
問6	3.69	3.92	3.60	3.66	3.76	3.73	3.86	3.68	3.71	3.63
問7	3.50	3.88	3.36	3.62	3.64	3.55	3.85	3.45	3.60	3.53
問8	3.67	3.88	3.59	3.64	3.78	3.68	3.82	3.63	3.71	3.67
問9	3.69	3.89	3.62	3.78	3.77	3.69	3.80	3.65	3.73	3.69
問10	3.52	3.85	3.40	3.56	3.63	3.55	3.72	3.50	3.59	3.50
問11	3.49	3.81	3.37	3.64	3.69	3.55	3.77	3.47	3.63	3.57
問12	3.59	3.84	3.50	3.69	3.75	3.59	3.79	3.53	3.67	3.63
問13	3.57	3.82	3.48	3.62	3.70	3.61	3.79	3.55	3.67	3.57
平均値	3.58	3.85	3.48	3.66	3.71	3.60	3.79	3.53	3.63	3.62

授業評価アンケート2023年度後期調査結果 グループ平均一覧

	基礎・共通	基礎・共通留学生	基礎・共通留学生以外	資格	音楽学科	人文学科	人文学科留学生	人文学科留学生以外	子ども発達学科	発達栄養学科
問1	3.80	3.91	3.75	3.76	3.76	3.81	3.94	3.76	3.70	3.74
問2	3.60	3.83	3.49	3.62	3.69	3.63	3.85	3.54	3.66	3.65
問3	3.60	3.83	3.50	3.71	3.62	3.66	3.82	3.60	3.61	3.60
問4	3.28	3.73	3.06	3.45	3.42	3.37	3.74	3.21	3.32	3.43
問5	3.80	3.92	3.74	3.83	3.80	3.81	3.93	3.77	3.74	3.75
問6	3.75	3.89	3.68	3.68	3.69	3.78	3.91	3.73	3.68	3.68
問7	3.58	3.85	3.45	3.65	3.61	3.61	3.84	3.51	3.58	3.58
問8	3.71	3.88	3.64	3.56	3.67	3.74	3.91	3.67	3.68	3.68
問9	3.73	3.88	3.66	3.77	3.72	3.77	3.89	3.72	3.68	3.70
問10	3.62	3.81	3.53	3.62	3.52	3.66	3.80	3.61	3.62	3.55
問11	3.58	3.77	3.48	3.69	3.64	3.67	3.85	3.59	3.62	3.57
問12	3.62	3.83	3.52	3.70	3.69	3.70	3.86	3.63	3.65	3.60
問13	3.65	3.82	3.57	3.71	3.64	3.71	3.85	3.65	3.64	3.61
平均値	3.64	3.84	3.54	3.67	3.65	3.69	3.86	3.61	3.63	3.63